

## 「大学生のためのお金の教室～資産運用はお金持ちだけのもの？」

ファイナンシャルプランナー 江尻正幸

日本株式市場の上昇が続いています。

日経平均は約23.5%、TOPIXは約25.5%、それぞれ11月末から上昇しています（2013年2月25日時点）。

そのため、ここ数週間のうちに資産運用に関する特集記事を目にする機会も多くなりました。

このことに比例するように、資産運用をはじめようかと考える方も増えています。

それは、大学生も例外ではありません。

### 【質問】

最近の相場上昇に乗るため、資産運用に関心を持ちました。

証券会社に勤める大学の先輩に相談したのですが、資産運用はお金持ちのやることであり

私のような一般人はやるものではないと言われました。

本当にそうなのでしょうか？

（毛利さん 大学3年生 預金残高5千円 借入金なし）

### 【回答】

まず、日本株式市場上昇の恩恵を受けるための手段として、以下の2つが挙げられます。

#### （図1）日本株への投資方法

	おもな特徴
個別企業の株式を購入	<ul style="list-style-type: none"><li>・購入した企業の株価が上昇した場合、売却益を得られる</li><li>・配当金や株主優待を得られる</li><li>・企業によっては、最低購入金額が数十万円以上となる</li></ul>
日本株式に投資する、投資信託を購入	<ul style="list-style-type: none"><li>・投資対象の選別および売買をプロに任せられる</li><li>・1万円あれば購入できることが多く、商品によっては毎月定額で積み立てることもできる</li><li>・コストが割高になるケースがある</li></ul>

（筆者作成）

図1より、投資信託を活用するならば、大学生同士の飲み会2回分の金額で開始することができます。また、場合によっては500円から毎月積立投資を行うことも可能です。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2013 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

つまり、資産運用は、毛利さんの先輩が言ったように「お金持ちだけのもの」ではないのです。

### ●資産運用は必要？

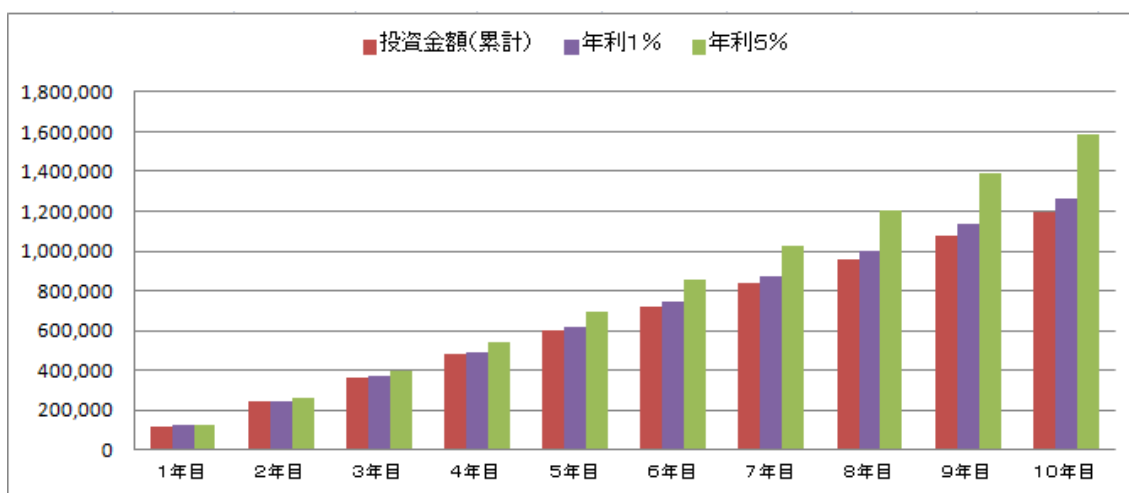
ところで、資産運用を行うことは必要なのでしょうか？

確かに、失業や就職先の倒産、給与減額、賞与カットなど、家計における将来の不確実性は高まっています。

しかし、そのような状況に陥ったとしても、預金を堅実にするこゝである程度の資産形成が可能ならば、あえて元本割れのリスクを負ってまで取り組む必要はないでしょう。

そこで、シミュレーションを行いました。図2をごらんください。

(図2) 毎年12万円を10年間、年利1%・5%でそれぞれ運用した場合<sup>(注)</sup>



(筆者作成)

現在、普通預金金利は0.02%前後の場合が多いのですが、図2の計算においては便宜上1%（50倍）と設定しました。

それでも、年利1%と5%では年々差が生まれており、長期的視点に立つならば、お金をただ貯めるだけというのもリスクだといえます。

つまり、将来への金銭的不安があるならば、預金以外の資産運用を行うことは有効な対策のひとつなのです。

しかし、安易に資産運用を始めるならば、すぐに痛い目にあうでしょう。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2013 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

毛利さんのように学生ならば、「なぜ、現在の日本株式市場は上昇しているのか?」、「どうやって投資先を選べばよいか?」などをしっかり勉強することが重要です。

これは、資産運用だけでなく、就職先選びにも役立つでしょう。

また、友人からお金を借りているにも関わらず、資産運用をはじめようとしている学生からの相談が増えています。

こういった方は、まずは返済し、お金を借りずにやりくりする力を身につけてから、投資をはじめましょう。

この点に関連して、毛利さんは借入金こそありませんが、現時点での預金残高が5千円であり、多いとはいえません。

まずは毎月決まった金額を貯めることができるようになってから、資産運用を開始しましょう。急な出費に迫られたとき、手元に現金がほとんどないならば大変です。

貯金ができる、つまり家計管理ができるようになって初めて、資産運用のスタートラインに立てるのです。

注：税金や手数料等は一切考慮しておりません。また、投資は自己責任で行いましょう。